



2丁目大火

### 〈米の生産調整〉

## 目標数量を458トンもオーバー

米の生産調整という大きな問題をかかえた市役所は、米生産調整協議会を設置して、各地区別の調整目標を明らかにしながら、農家の協力を求めたところ、下記表のように、目標数量をはるかに越える数量で目標を達成しました。

目標オーバーは、県内の市町村では軒並みの現象というところですが、本市の場合、は場整備事業の通年施行が約半分を占めていたこと、兼業農家の多い本市では農業よりもむしろ町で働いた方がよい、という考えを持

っている人が多いこと、さらには、政府で打ちだした農業政策を理解した人が多いこと、などが本市の目標オーバーの要因ではないかと、市の農林課ではいっています。なお、市では、生産調整を希望した農家の方々に對して、生産調整目標実施計画書を提出するようお願いしてありますが、記載にあたっては、1枚ごとの字、地番地積を明記し、とくに、地積については、公簿によって書いてくださるよう、お願いしているところです。

地区別米生産調整実施計画書

地区名	申入戸数	生産調整目標数量(A) kg	生産調整目標面積(B) a	生産調整申込数量(C) kg	生産調整減反面積(D) a	同左内訳			調整率	
						土地改良	転作	休耕	(C)/(A)	(D)/(B)
大館	115	66,201	1,439.0	95,601.4	2,158.7		1,506.4	652.3	144.4	150.3
釈迦内	153	111,535	2,342.0	140,126.6	2,966.4		391.0	2,575.4	125.6	126.6
長木	217	85,563	2,015.0	93,778.5	2,346.5		698.2	1,648.3	109.6	116.4
下川沿	194	77,857	1,683.0	186,881.0	3,992.5	1,000.0	1,227.1	1,765.4	240.0	237.2
上川沿	115	71,369	1,533.0	86,505.2	1,930.7		1,196.8	733.9	121.2	125.9
真中	263	617,600	13,000.0	645,111.0	13,603.9	13,200.0		403.9	104.5	104.6
二井田	298	125,651	2,697.0	149,125.9	3,285.6		1,849.0	1,436.6	118.6	121.8
十二所	351	115,144	2,601.0	241,248.0	5,777.6	1,217.6	2,389.0	2,170.3	209.5	222.1
花岡	88	40,833	950.0	59,906.0	1,457.2	152.7	23.0	1,281.5	146.7	153.3
矢立	78	54,766	1,301.0	122,979.0	2,932.0	877.3	76.0	1,978.7	224.6	225.4
計	1,872	1,366,519	29,558.0	1,821,262.6	40,451.1	16,447.6	9,357.2	14,646.3	133.2	136.8

### 進む復興諸工事

43年10月12日の御成町2丁目大火から、はやくも1年7カ月になろうとしています。

(罹災世帯数248、罹災人員917人、焼失面積)7万9,425平方メートル、損害見積額約15億一時はどうなるものかと心配された、この4度目の大火は、秋田県や建設省などの協力もあって、早い時期に火災復興都市計画、土地区画整理事業を行なうことができたことは、本当に嬉しい限りです。

また、燃えない都市づくりに、一生懸命になって立あげあがった罹災者の皆さんの絶えまない努力、そして計画に対するあたたかい協力が、復興計画をいち早く進展させる原因となっております。

さて、44年1月30日に事業計画を受けた、この2丁目火災復興土地区画整理事業は、43年度からはじまって、46年度を最終めどに進められます。計画実施の最終年度の前年あたり、今年度は計画事業のうち75%を完成させるため、復興事業を重点にとりあげました。今年度のこの事業に投ずる予算総額は2億4,755万9,000円です。昨年度に比較して1億5,745万9,000円も増やしており、主な施工工事としては、街路築造工事に7,600万、整地工事に3,359万、水路築造工事に2,490万の円のほか、物件移転補償費として1億2,000万円、二重移転補償費300万円を投じ、各種工事に積極的に取り組むことにしました。

ところで、改造事業実施計画の概要についてのべてみますと、

- 施行地区面積 21・78ヘクタール
- (内訳)商業地1・8ha・住居地14・25ha
- 公用地0・19ha・公共用6・16ha
- 移転戸数 223戸
- 移設 3,755m (上水道)
- 街路築造 5,934・9m
- 公園 6,641・8m<sup>2</sup> (2カ所)

ということになり、燃えないまちづくり、土地の高度利用化を目的とした2丁目復興事業は、地区住民の福利増進に向って、今日も雄音高らかに進められています。

## 行政協力員の交代

4月1日づけ

町内名	新行政協力員	前行政協力員
独鈷町	古沢総一郎	菅原 淳一
1丁目5区	小松藤一郎	山田 猛
中神明町	片岡慶四郎	長崎 信直
泉町	島山 優二	(新設町内)
日景町2区	佐藤 福藏	木村 鉄二
下代野2区	小笠原勝衛	石田源次郎
下代野4区	石田 秀雄	石田 信雄
新沢	阿部 義興	岩根重太郎
茂内屋敷	熊田 喜延	熊田 雄治
水 沢	渡辺 金作	浪岡善栄治
金 谷	菅原 一字	菅原 真平
館	中山 正一	松田 正治
猫 鼻	小畑 恵子	阿部 宇市
〃 〃	白根 士郎	斎藤 清
大森団地	柴田 宏	佐藤 金繁
緑 園	其田 一雄	新堀 宏
南前田	五十嵐嘉七	児玉喜代治
陣場1区	藤田 竜男	嶋 勝次
才の神	近藤弥宗治	近藤 久藏
赤 沢	石田 忠志	石田 忠治
柄 沢	戸田 勝美	成田 幸藏
長 走	石代 実治	石田 清

## 人事異動

4月1日づけ

主任以上の異動←( )内は前職

市では4月1日づけで、職員の人事異動を発表しました。異動の規模は総数114人、このうち昇格者11となつています。

また、係の機構も一部変わり、建設課の土木係が第一第二係になったほか、厚生課衛生係が厚生係に名称が変わっています。

- 財政課長 渡辺喜一郎 (財政課長補佐)
- 市民相談室主査 石戸谷紀三男 (十二所出張所)
- 図書館主査 芳賀敏夫 (社会教育課長)
- 社会教育課長 田面木敏夫 (学校教育課長補佐)
- 財政課長補佐 萩野三宏 (財政係長)
- 管財課長補佐 芳賀敏夫 (建設課庶務係長)
- 農林課長補佐 浜松和乎 (農林課林務係長)
- 建設課長補佐 林野順一 (水道課長補佐)
- 水道課長補佐 野口正三 (建設課長補佐)
- 学校教育課長補佐 虹川貞夫 (建設課失策対策係)
- 財政課庶務係長 梅村 長 (選管選挙係長)
- 税務課第一係長 工藤留藏 (商工、観光係長)
- 〃 税第二係長 桜庭角雄 (収入役室出納係長)
- 管財課用地整理係長 小林正雄 (建設課主事)
- 厚生課衛生係長 虹川誠造 (厚生課衛生係長)
- 市民体育館係長 田村常次郎 (福祉事務所主事)
- 商工課観光係長 根本勇夫 (〃 民生児童係長)
- 農林課土地改良係長 安保喜代志 (農林課技師)
- 建設課庶務係長 石井景紀 (税務課税第二係長)
- 〃 土木第一係長 小畑次郎 (建設課土木係長)

- 収入役室出納係長 佐々木弘尚 (水道課業務係長)
- 〃 用度係長 伊藤健治郎 (教委、庶務係長)
- 水道課業務係長 田中晴一 (税務課税第一係長)
- 〃 工務係長 貝森志朗 (水道課主任)
- 福祉・民生児童係長 明石幸藏 (市民課資料整備係主任)
- 〃 保護係長 田村金一 (市民体育館係長)
- 上川沿出張所長 島山竹治 (収入役室用度係長)
- 二井田出張所長 沼田 実 (教委、社会教育係長)
- 真中出張所長 虹川勇藏 (上川沿出張所長)
- 十二所出張所長 田村 晃 (福祉、保護係長)
- 市病庶務課庶務係長 島山広治 (市病庶務係主任)
- 〃 〃 出納係長 猪野泰郎 (市病庶務係長)
- 選管、選挙係長 柳原正男 (市病出納係長)
- 農委、農業振興係長 小池 繁 (花矢支所主事)
- 教委、総務課庶務係長 山田 勲 (財政課庶務係長)
- 〃 社会教育係長 石田一生 (管財用地整理係長)
- 税第二係主任 佐々木正己 (税第二係主事)
- 都市計画係主任 佐藤正美 (都市計画係技師)
- 土木第二係主任 山内 馨 (土木係技師)
- 市病医事係主任 八代 憲 (市病医事係主事)

<新採用者>

- 総務課秘書係 事務補佐員 宮田まき子
- 〃 職員係 〃 渡辺孝夫
- 農林課林務係 技術補佐員 近江屋和男
- 有浦保育園 技術補佐員 虹川トシ子
- 十二所保育園 労働補佐員 工藤静子
- 建設都市計画係 技術補佐員 佐々木義広